

シニア産業カウンセラー養成講座について

【シニア産業カウンセラーとは】

日本産業カウンセラー協会では「産業カウンセラー」の上位資格として、より実践力を持ち専門的な知識を備えていると認められる「シニア産業カウンセラー」を設定しています。

【目指すシニア産業カウンセラー像】

協会では、3つの活動領域（1. メンタルヘルス対策への支援、2. キャリア形成への支援、3. 職場における人間関係開発・職場環境改善への支援）に対応できる、プロフェッショナルとして社会に通用する経験と専門性を十分に備えたカウンセラーの輩出を目的としています。

【シニア講座受講資格】

産業カウンセラー資格を有し、協会に資格登録をしている会員

【受講の特徴】

シニア産業カウンセラー養成講座は、産業カウンセラー養成講座と異なり、全国の支部で自由に申込・受講できます（ただし、定員を超えている場合は抽選となります）。受講者のみなさまは、3年から5年をかけてじっくり学んでいただき（個人差があります）、より高い実践力と知識を身につけます。

詳しくは本部HP（<https://www.counselor.or.jp/course/newcourse/tabid/326/Default.aspx>）をご覧ください。

2021年度中部支部開講日程

おおむね開講日の3か月前1日～10日が受付期間になります。（逐語2期は6か月前）

開講日	No.	科 目	受講料	申込月
4月17日(土)10-13時	23-1	【ZOOM】シニア産業カウンセラー育成講座ガイダンス	3,850円	1月
4月17日(土)14-17時	23-2	【ZOOM】産業カウンセラー倫理の実践的理解	8,250円	1月
4月18日(日)	22	【ZOOM】レポート・報告書作成の研究的視点と実践的理解	16,500円	1月
9月19日(日)・20日(月祝)	21	働きやすい職場づくりの実践的理解 (2日間)	31,900円	6月
10月30日(土)・31日(日)	18	ファシリテーションとグループ・ワークの実践的理解 (2日間)	31,900円	7月
11月6日(土)10-13時	23-2	産業カウンセラー倫理の実践的理解	8,250円	8月
11月6日(土)14-17時	23-1	シニア産業カウンセラー育成講座ガイダンス	3,850円	8月
12月25日(土)・26日(日)	11-2	逐語記録・事例報告の作成と検討(2期) (2日間)	31,900円	6月
2月26日(土)・27日(日)	3	TA(交流分析) (2日間)	31,900円	11月
3月19日(土)・20日(日)	11-3	逐語記録・事例報告の作成と検討(3期) (2日間)	31,900円	12月
日程調整中	11-1	【ZOOM】逐語記録・事例報告の作成と検討(1期)	16,500円	
日程調整中	23-1	【ZOOM】シニア産業カウンセラー育成講座ガイダンス	3,850円	

*No.23-1,23-2のみ3時間、その他は10～17時になります。

【2021 年度開講の各講座の紹介】

	No.	科 目	研 修 内 容
【素養的能力】 これからシニア講座を受講する方に 	22	レポート・報告書作成の研究的視点と実践的理解	産業カウンセラーは、様々な目的に応じて文章を作成することが求められます。この講座では、企画書、報告書、課題レポート、事例報告作成などに必要な視点と、どのような形で内容を構成すればいいのかを客観的・論理的に表現するスキルを習得できます。
	23-1	シニア産業カウンセラー育成講座ガイダンス	シニア講座の紹介および受講するにあたり必要なことなどを解説します。
	23-2	産業カウンセラー倫理の実践的理解	産業カウンセラーはこころの健康の専門家として倫理順守することは必須です。産業カウンセラーに必要な知識および技量、行動基準などを学びます。 *シニアを目指す人だけでなく、産業カウンセラーとして活動する方には必要な内容になります。
【信頼され影響力を持つ能力】 カウンセリング力を向上させるために 	1	認知行動療法	認知行動療法を用いてカウンセリング・プロセスをすすめると問題解決に至れるケースもあるといわれています。ここでは、認知行動療法を用いてカウンセリング・プロセスを促進する方法を理解して実践力を学びます。
	5	ブリーフ・セラピー	ブリーフ・セラピーは既存のカウンセリングとは全く異なる援助理論と援助方法を有しています。原因を分析するのではなく、問題や病理現象が生じていない時に着目し、リソース利用により解決を構築する方法を取ります。ここではブリーフ・セラピーに必要な援助理論と援助方法について学び理解を深め、産業現場で用いられる技法、実践力を学びます。
	8	危機介入等の実践的理解	災害、事故、自殺など事案が発生した時の、個人と組織の心理的プロセスとケアの方法などの危機介入についての基本的な理解と行動を学ぶことを目的としています。ここでは心理的プロセスとケアの方法など基礎的な理解と行動を学び、実践につなげます。
	10	心理アセスメントの実践的理解	心理テストおよび観察法によるアセスメントにより、クライアントの問題の見立て、目標設定をしたカウンセリングプロセスを的確に推進できる素地を身につけることができます。
	11-2	逐語記録・事例報告の作成と検討(2期)	逐語(2期)は各自が実施したカウンセリング事例について事例報告および正確な逐語記録を作成するスキルを学びます。(逐語2期は1期修了者の受講となります)
【人間関係・組織開発を支援する能力】 	19	教育研修指導法の実践的理解	産業カウンセラーは企業、組織内において様々な教育・研修を実施することが多くあります。それには効果的な教育・研修の目的、方法、指導の流れ、教育マテリアルの作成方法と注意点、効果的なプレゼンテーション、そして評価方法に熟知する必要があります。ここではこれらに関する一連の知識と基本的な考え、姿勢、注意点を学びます。
【組織に働きかける能力】 	20	メンタルヘルス支援体制構築の実践的理解	企業団体等の組織内でメンタルヘルスの体制を作って維持運営していくことで、従業員の心身の健康を保ち、さらに生産性の高い職場としていくために必須になる講座です。ここでは、メンタルヘルス体制の実践的知識の実践的なスキルを学びます。
	21	働きやすい職場づくりの実践的理解	産業カウンセラーにとって、企業団体のコンサルテーションは今後さらに重要性を増すものと思われます。メンタルヘルスの改善のみならず、モチベーション、モラル、リーダーシップ、チームワーク、コミュニケーションの向上、ハラスメント防止などの役割を果たすために重要となるポイントを学び、実践的なスキルを身につけます。

No.22,23-1,23-2 は、シニア講座受講をお考えのみなさまが最初に受講する科目となります。